

授業 科目	UC2C26	1単位	選択	演習	2学年前期	担当 教員	教授 櫻井ますみ					
	病後児保育											
授業の 概要	① 子育ての多様化と言われる現代、子育てと就労の両立を支援するためにはいろいろなタイプの児童を保育する要望がある。その中で、体調が思わしくない子どもの保育について、課題を提示しながら授業を展開していく。											
	② 病後児保育の対象は、病状は悪化しないであろうと主治医が判断した回復期の児童である。病後児保育は、症状の観察と安静などを十分に配慮し保育であり、看護師と保育士が連携して行う。発達を理解した上で、病状についての学習が必要とされる。											
	③ 講義は乳幼児に生じる代表的な症状について学習し、観察のポイント、対応方法など演習を交えて展開していく。											
	④ 保育は、元気な子どもだけのものではない。病状を踏まえて、どのような対応をしたらよいか自らに問いかけて受講してもらいたい。											
到達目標				学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 病児・病後児保育事業の概要を理解する。				◎		○	◎	○	◎	○	○	
2. 病後児保育室において保育士の役割を理解する。				○	○	○	◎		◎		○	
3. 病後児保育のこれからの課題と展望について理解を深める。				◎	○	○	◎	○	◎		○	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標						復 習			
1	病児保育とは	オリエンテーション	現代の子育て支援の一つである乳幼児健康支援データベース事業を学ぶ。核家族化と地域のつながりの希薄化で、子育て支援の一つとして、病児保育があることを知る。						社会で子どもを支援することについて意見を集めてくる。			
2	保育園児の健康状態の実態 子どもの健康に関する保護者の対応	保育園児のかかる病気について調べておく。	保育所で多い子どもの病気、子どもの健康状態の把握について理解する。 保育所で流行する感染症、保育所での感染症の予防、について理解する。保育所で「体調が悪い」状態の時に、保育士としてできる対応について考える。子どもの病気についての保護者の意識について知見を得る。						子どもの病気の特徴を挙げられるようにする。			
3	病児・病後児保育事業	病児と病後児の違いについて考える。	病児保育の必要性とその背景と意義について理解する。病児と病後児をどう考えるか話し合う。						病児保育はなぜ必要になったかを考える。			
4	病児保育事業の展開	世田谷区ナオミ保育園について情報を得る。	病児保育の歴史的展開について学ぶ、市民活動から立ち上がった病児保育の意義を討論する。						病児保育の種類を言えるようにする。			
5	病児保育の事業の内容	エンゼルプランの経緯について調べておく。	①病後児に対する国庫補助事業について経緯を知る。 ②国庫事業の内容を理解する。						親の子育てについての責任を考える。			
6	病児保育の種類と特徴	児童福祉施設の内容を振り返る。	事例に基づいて各事業所の病児保育の特徴を理解する。DVDを視聴する。						児童福祉施設の種類を改めて振り返る。			
7	地域の病児保育の特徴	自分の地域の病児保育の有無を調べる。	自分の地域の病児保育の特徴を調べる。保育所の数、医療機関の数なども調べる。						得た資料を整理する。			

8	発表	発表の方法を考える	地域にある病児保育の発表 自分が調べてきた病児保育について、発表する。	地域の違いについて考える。
9	病児保育の実践	病児保育の日常生活	①可能であれば、実際の病児保育の見学をする。 ②帰宅までの保育方法を理解する。 ③食事についての具体的実践について考える。	感想をまとめる。
10	病児・病後児保育の課題	現状の課題を考える。	病児保育が抱えている問題点について理解を深める。 利用率について、保育と看護の協働、デイリープランについて学ぶ。	多職種連携の例を調べる。
11	病児保育での食事	病児食への配慮を考える。	病児保育の食について理解を深める。 白湯とおかゆ作り。	おかゆの種類についてまとめる。
12	病児保育のお弁当	お弁当作りの基本を調べる。	医療機関併設型病児保育に持ってくるお弁当を考える。	消化の良い副食をまとめる。
13	体調が悪い子どもの保育 悪い子どもの早期発見	体調不良児、医療的ケア児、資料を用意する。	①体調が悪い子どもとその背景を知り、体調が悪い子どものケアの実際を学ぶ。 ②子どもと病気、医療的ケア児の実態を理解する。 ③子どもが病気になった時の家族への影響について考える。 ④体調と発達に即した遊びを理解する。 ⑤保護者への支援について理解する。	医療的ケアには何かがあるかまとめる。
14	体調が悪い子どもの保育	病棟の医療保育についての資料を用意する。	長期入院している子どもの日常を理解し、いろいろな職種の立場で「体調が悪い子どもの保育」方法を知り、これからの病児保育について理解を深める。	病棟の保育士の役割を知る。
15	まとめ	今までの資料を読んでおくこと。	体調の良くないこどもの保育について話し合い、何を学んだか整理する。	資料、ノートの確認する。
成績 評価	受講態度 (30%) レポート (50%) ノート (20%) 合計 (100%)			
教員 から の コ メ ン ト	体調が良くない子どもの状況を、理解できるよう授業展開したいと考えています。これからますます働く保護者が増え核家族化が進む中で、健康状態がよくない状態でありながら保育をする状況が出てくることが予想されます。いろいろな状況に対応できる保育士になれるよう期待します。場合によって施設見学を予定しています。交通費は自己負担になります。また病児食についての実習も予定しています。			
教科 書	子どもの保健の教科書を使用します。	推薦 図書	書名 病児保育マニュアル 著者 帆足英一 発行所 全国病児保育協議会 書名 病児保育・事例から学ぶこと 著者 池田奈緒子 発行 芦書房	